

令和元年度 友好都市交流事業

飛島村～南種子町

ロケットロード研修報告書



愛知県海部郡飛島村

本研修のねらい

普段の生活から離れた地域やそこに住む人々との交流を通じて、自己の見聞を広げると共に異なる文化や社会、価値観を理解・尊重する姿勢を養う。

→自分を高める・視野を広げる。

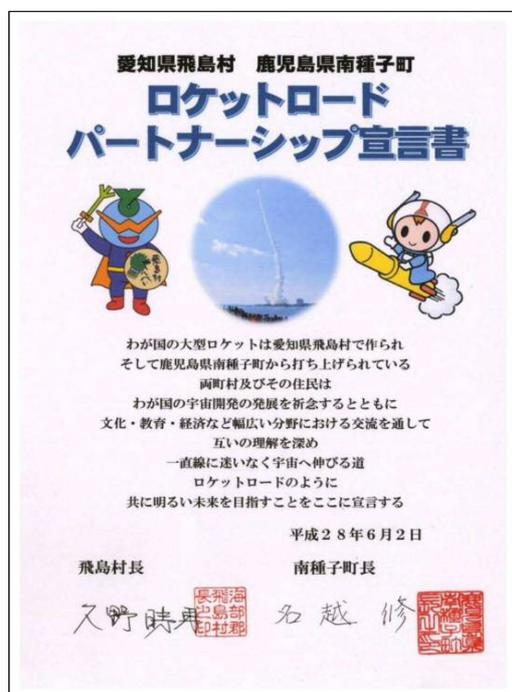
自分が住む地域と異なる地域について知るだけでなく、自分が住んでいる地域を見つめ直し、その良さを再発見させ、ふるさとを愛する心情を育む。

→飛島村のよさを再発見する。

地域にかかわる多様な体験を通じて、これまで学習してきた知識を深め、自ら課題を見つけ学ぶ楽しさを味わわせる。

→学ぶ楽しさを味わう。

飛島村と南種子町との関係



南種子町は鉄砲伝来の地として歴史ある側面をもつ一方で、種子島宇宙センターがあることから、歴史と未来が共存する町といわれています。

そんな南種子町の大型ロケットは実は飛島村で作られています。そのような関係から、両町村の発展を祈念するとともに、幅広い分野における交流を通して、一直線に迷いなく宇宙へ伸びる道ロケットロードのように共に明るい未来を目指すことを目的として、平成28年に友好都市関係を結びました。

【行程表】

1日目

飛島村中央公民館	中部国際空港	鹿児島空港	かごしま空港ホテル
出発式 13:00	14:10 15:05	16:45 16:55	17:00 宿泊

2日目

かごしま空港ホテル	鹿児島空港	種子島空港	広田遺跡ミュージアム
朝食 7:00	7:50 8:45	9:25 9:35	10:10 12:10
昼食	たねがしま赤米館	種子島宇宙センター	町郷土館
12:20 13:00	13:15 14:10	14:20 16:20	16:35 17:00
トシミ市場	観光ホテル門倉亭南荘		
17:10 17:40	17:50 宿泊		

3日目

観光ホテル門倉亭南荘	門倉岬	インギー鶏見学	マングローブパーク
朝食 7:45	8:05 8:25	8:35 8:50	9:10 9:25
千座の岩屋	種子島空港	鹿児島空港	昼食
9:35 10:20	11:10 12:10	12:40 13:00	13:10 14:00
西郷公園	鹿児島空港	中部国際空港	飛島村中央公民館
14:10 15:00	15:10 17:15	18:35 18:50	19:40 帰着式



出発式



広田遺跡ミュージアム見学



たねがしま赤米館にて、
南種子町の児童との交流



種子島宇宙センターにて、
南種子町児童との交流



さとうきび実食体験



マングローブパーク見学

令和元年6月12日 応募説明会

友好都市交流事業に参加を希望する6年生とその保護者が、事業の説明を聞きました。

参加を希望した全員が参加できるわけではなく、応募審査を合格した10名が派遣団員として選ばれます。応募してからの流れや応募方法について、熱心に説明を聞きました。

令和元年6月28日 面接練習会

応募審査会に向けて、面接の練習を行いました。

初めての面接に戸惑いながらも、入退室の仕方などの説明を聞いた後に実際に練習をしました。

姿勢や話し方を意識しながら練習し、最後にはすらすらと質問に答えられるようになるなど、本番に向けてしっかり練習できました。

令和元年7月2日 応募審査会

審査会当日は4人で1組の集団面接を行いました。事前に面接練習会で練習したとはいえ、慣れない面接に緊張していました。どんなことを学びたいか、南種子町の児童とどう交流したいかなど、しっかり説明できました。

事前に提出した作文とこの日の面接を審査して「友好都市交流派遣団員」が選出されました。

【派遣団員名簿】

青木 梨華
加藤 寛翔
立石 希唯

犬飼 彩太
栗本 朔弥
坊山 友都

大谷 一加
児玉 隼佑

大橋 亜友汰
佐藤 羽ぬる

【引率者名簿】

五十嵐 雅裕 (教育委員会教育課主幹)
小倉 彰 (教育委員会生涯教育課主事)

諸戸 淳平 (教育委員会生涯教育課主事)

【指導教諭】

渥美 麻衣 (飛島学園飛島小学校教諭)

令和元年7月16日 表敬訪問

田宮教育長を表敬訪問しました。

ロケットや歴史、産業などについて学びたい、南種子の人々との交流を図りたいなど、決意を表明しました。

田宮教育長からは、自分で事前に学習し、楽しく学ぶことが大切であるというお話をいただきました。



令和元年8月23日 8月研修

南種子町に行く前に、自分たちが暮らす飛島村についての研修を行いました。

みんなで話し合いながら「南種子町の児童に紹介したい、飛島村のよいところ」を考えました。話し合いの中から、南種子町での研修で自分が特に勉強したいテーマを決めました。



令和元年9月18日 第1回事前研修会

南種子町に行くための事前研修会が開講し、第1回事前研修会には、派遣団員とその保護者が出席しました。

南種子町での行程の説明や服装、持ち物など、研修に向けて必要な準備や今後の流れについて説明を聞きました。



令和元年11月14日 第2回事前研修会

自分の研究テーマについて、自分で調べたことや学んだことを他の団員に紹介しました。

他の団員からは発表に対する質問がたくさん出て、より学びを深め合える研修になりました。事前にしっかり勉強することで、南種子町での研修をより良いものにする意識が高まりました。



令和元年12月3日 第3回事前研修会

本研修での団員各自の役割を決め、細かな行程や持ち物について説明を聞き、事前研修を終えました。

事前研修閉講式では、久野村長と田宮教育長から激励の言葉をいただき、本研修に向けての心構えができました。



これが私の学び 研修テーマ「南種子町の歴史」

飛島学園6年生 青木 梨華

【広田遺跡】



広田遺跡は1700年～1300年前にかけての集団墓地で、昭和32～34年にかけて発掘調査が行われ90基の墓と158体の人骨、44,000点の貝製品が見つかったそうです。昔の人々はいったいどんな暮らしをしていたのでしょうか。飛島村には遺跡はありませんが、新田開発の歴史があります。飛島村も南種子町も、ご先祖たちが築き上げた歴史があると思います。

【火縄銃】



火縄銃についてもっと知ってもらいたいと思い、この写真を選びました。鉄砲は1543年に種子島に伝来しました。領主の種子島時堯がポルトガル人から鉄砲2丁を買い、鍛冶屋の八坂金兵衛に製造記述の習得を命じます。金兵衛は娘をポルトガル人に嫁がせる代わりに製造技術を学んだそうです。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

事前研修では飛島村の歴史を学び、友好都市の南種子町ではいろいろな歴史を実際に見て、聞いて、たくさんのことを学ぶことができました。南種子町での大切な経験をこれからは生かしていきたいです。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

南種子町と比べて、観光資源はあまりないけれど、飛島村の農業や産業を生かしてみんなが訪れたくなるような、優しく温かいそんな場所になってほしいと思いました。

これが私の学び 研修テーマ「自然について」

飛島学園6年生 犬飼 彩太

【マングローブ】



このマングローブは、マングローブパークに生えています。大きいものや、小さいものなど、いろいろな大きさのものがありました。マングローブの近くにはカニがたくさんいました。水の量は思っていたよりも少なかったです。マングローブの花の色は白色だと聞きました。飛島村にはないので、どうやって育てていくのか気になります。自然に生息しているのがすごいと思います。

【ハイビスカス】



このハイビスカスは門倉岬に咲いていました。1つではなく、たくさん咲いていました。写真で見てもきれいですが、実際に見たほうがきれいだと思います。色の種類は赤に似ているものが多かったです。飛島村では自然には咲いていないし、冬だと育てられないので冬にも咲いているのはすごいと思いました。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

飛島村とは違って海や森がきれいで楽しかったです。なぜ海や森がきれいなのかは、工場がないからなんだと思いました。僕は初めて何かを自分からやりたいと言って、貴重な経験になったので、これからも積極的にやってみたいと思います。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

飛島村は都会に近いのに緑が多いところ、寒い季節にも旬の野菜を育てられるところがよいと思います。南種子町には有名な観光地があるけれど、飛島村にはないから、観光地を作ったほうがよいと思います。

これが私の学び 研修テーマ「農業について、3日間で教わったこと」

飛島学園6年生 大谷 一加

【赤米館について】



赤米館では、赤米のことについていろいろなことを学びました。例えば、赤米の稲の長さはいつも食べているお米の稲の長さ比べて、約2倍の長さなので、その分お米の粒が多くつきやすいそうです。また、赤米館の外ではサトウキビを食べました。みんなは堅いと言いつつも食べていましたが、私は怖くて少しも食べられませんでした。

【鹿児島で食べたもの】



研修に行った3日間の中で、1日目の夜、2日目の夜、3日目の昼にしゃぶしゃぶを食べました。私は、なぜ3日連続なのかを考えました。私は以前から黒豚が有名だということを知っていました。だからその黒豚をよく使うしゃぶしゃぶも有名なのかなと私は思いました。3日間とも、お肉や他の食べ物もとてもおいしかったです。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

わたしは最初はすごく軽い気持ちで参加しました。しかし、研修会を何回かやっているうちに、段々と「こういうの調べてみたいな」と思えるようになって、実際に知ることができたので、よかったです。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

南種子町に比べて、飛島村の方が道がまっすぐだから良いと思いました。また、南種子町に比べて、飛島村の海は汚いからきれいにしたいと思いました。南種子町には宿泊するホテルなどがあって、観光する場所がいくつかあり、お土産屋さんもありました。飛島村も観光客がたくさん来てほしいです。

これが私の学び 研修テーマ「ロケット・お店について」

飛島学園6年生 大橋 亜友汰

【トンミー市場】



これは、南種子町のトンミー市場というお店に売られていたさつまいもです。値段がとても安いのがわかります。トンミー市場には、さつまいもの他にも黒糖、貝がら、宇宙食やロケットの柄のついたクリアファイルなども売られていました。トンミー市場は観光客の方や住民の方などいろいろな人たちが利用できるお店だと思いました。飛島村には、すこやかセンターでねぎ、ほうれんそうなどの野菜やほうれんそうモナカアイスが売られ、公民館ではとびしマンガッズが売られていて良いと思います。このようなお店は地産地消につながるのだから良いと思います。

【発射場】



この写真は南種子町にあるロケット発射場で、日本に2つしかないうちの1つです。山と海に囲まれていて世界一美しいロケット発射場とも言われ景色がきれいです。南種子町には世界一があります。飛島村には日本一のもの、世界で注目されているものがあります。日本一のは、自動車の輸出量で、世界で注目されているのは新型ロケットのH-3ロケットです。身近に日本一などがあるということは、自慢になり飛島村はすごいところだという誇りにもなります。だから、こういうものは大切だと思います。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

準備や面接、事前研修では大変なところもありましたが、楽しいところもありました。そして、種子島ではとても楽しくて大変だったことも忘れるくらいとても良い研修でした。目的だったロケット発射場も見れて、後半は雨が降ってしまいましたが、大体は雨も降らず、とてもよかったです。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

すこやかセンターやエコープなど、地産地消を行っていることが良いと思います。ロケットを作っている村として、ロケットのファイルや宇宙食などを売っても良いと思います。また、観光スポットを作ったり、ロケットを作っているということをもっとアピールすると、もっと良くなると思います。

これが私の学び 研修テーマ「農業について」

飛島学園6年生 加藤 寛翔

【赤米の稲】



赤米には、ジャパニカ米などの様々な品種があります。また、稲の長さも普通の米の稲よりも赤米の稲のほうが長く、約150cmの長さがあります。実物を見てみると、とても長くぼくの目の高さまであって、とてもびっくりしました。

【さとうきび】



さとうきびは暖かいところでしか育ちません。だから、さとうきびの育つ場所は種子島などの暖かいところに限られています。さとうきびは1本がとても長いので、食べるときは20cmずつカットしたものを食べます。さとうきびは昔はおやつとして食べられていたそうです。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

自分が調べてみてわかったこと、気になって南種子町の子どもたちに聞いてみていろいろなことを教えてくれたこと、全部わかるようになりました。また、南種子町の子どもたちはとても良くしてくれ、南種子町についても実際に行ってみていろいろなことを感じる事ができました。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

南種子町と飛島村は気候も全然違って育つものも全然違っていました。飛島村の農業はほうれんそうの生産が盛んで、飛島村は豊かで良いところだと思いました。そして、飛島村は南種子町と同じように、気候を生かした農作物を育てていくともっと良くなると思いました。

これが私の学び 研修テーマ「自然と生物について」

飛島学園6年生 栗本 朔弥

【マングローブ】



種子島のマングローブを紹介します。日本では、マングローブは種子島と沖縄にしかなく、種子島は生息域の北限です。また、マングローブは汽水域という海水と淡水の混ざったところに生えています。写真はメヒルギという種で、オヒルギという種に比べてかなり小さく、種子島のマングローブはすべてメヒルギです。

【マングローブに住むカニ】



これはマングローブに住んでいるカニです。マングローブには、アシハラガニなどが多数生息していて、特に大型のカニ類はマングローブの生態系にとって重要な存在です。魚類ではトビハゼ類が活動していて、潮が満ちると多くの海水魚が侵入してきます。他にも哺乳類、鳥類、昆虫などがマングローブを利用しています。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

事前研修で知識を高めて、本研修を充実させることができ良かったです。種子島では自分のテーマについて、十分に考えて行動できたので良かったです。もっともっと事前研修などで勉強すればよかったとも思いました。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

飛島村も南種子町の宇宙センターみたいに、工場の近くにもっと自然を作ったほうが環境的にも良いと思いました。飛島村の良いところは、南種子町に比べて工業と農業が両立できているところが良いと思います。

これが私の学び 研修テーマ「生き物について」

飛島学園6年生 児玉 隼佑

【タテジマコシビロダンゴムシ】



このダンゴムシは、中国・四国・九州地方に生息して、林などの草むらに生息しています。愛知県などの東日本にはいない、珍しい生き物を冬に見られたのが、この研修で一番印象に残りました。

【マングローブ】



マングローブは海沿いの汽水域に生える木で、沖縄などの熱帯の地方に生息しています。驚いたのは種子についてです。写真の長細いものがマングローブの種子で、そのままに落ち、地面に刺さり、目が出るそうです。塩分濃度が高いほど、背が低くなります。なぜ塩分が苦手な植物が海で生息しているのか、調べていきたいです。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

種子島で印象的だったのは日の出の遅さです。日本では、南にいけばいくほど日の出が遅くなると知っていましたが、こんなにも違うとは思いませんでしたので驚きました。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

種子島の海をみて、飛島の海や村もきれいになってほしいと思いました。そんな村にするために、僕はごみを捨てないのはもちろん、ごみ拾いなども行いたいです。

これが私の学び 研修テーマ「ロケット・農業について」

飛島学園6年生 佐藤 羽ぬる

【ロケット】



私はロケットについて調べたかったので、ロケットの写真にしました。これはロケットを入れる倉庫です。高さは67mで、これはビルでいうと27階くらいです。ロケットを出すのは、ドーリーと言うロケットを運ぶものです。扉は開くのに10分かかり「さくら」の音楽が流れるそうです。

【南種子町の有名なサトウキビ】



私は農業について調べたかったので、農業の写真にしました。これはサトウキビです。皮が硬くて剥くのがとても大変でした。吸うととても甘かったです。飛島村ではたくさん農作物を育てているけど、南種子町ではあまり知らない農作物があったので育ててみたいです。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

最初はできるか不安でした。面接はとても緊張してたけど、全部答えられたのでよかったです。そして「合格」ときたのでとてもうれしかったです。当日は児童代表あいさつで、とても緊張したけど言えたし、無事に帰れたのでよかったです。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

南種子町と飛島村で育てている農作物を、実際に作って育ててみたいと思いました。

これが私の学び 研修テーマ「飛島村と南種子町の歴史について」

飛島学園6年生 立石 希唯

【広田遺跡】



この広田遺跡は、今から約1700年前から1300年前(弥生時代終末期～古代)にかけて営まれた集団墓地の遺跡です。広田遺跡では3世紀頃から7世紀頃の人骨157体見つけられました。人骨がきれいな状態で見つかった理由は、サングの死骸や貝殻などが砂に混じっていたからだそうです。他にも貝の装飾品をたくさん身に付けていました。

【鉄砲伝来】



1543年に種子島南端の門倉岬に船が漂着しました。ここが日本で初めて鉄砲を撃った場所です。種子島は砂鉄が多く産出し鍛冶技術の高い場所で、1545年には鉄砲の国産化に成功しました。そして戦国時代の日本で大量に使われました。町郷土館では鉄砲のレプリカを見せていただき、簡単に使い方を教えてもらいました。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

南種子町に行って、地域の人話を聞いて南種子町の良さやロケット・産業・歴史などたくさんの事を学べました。応募面接ではとても緊張しましたが、しっかり自分の考えを面接官に伝えることが出来ました。南種子町に行っているいろいろな経験をして、自分に自信ができました。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

飛島村の良いところは、村の人達がとても優しく登下校の時に「おはよう」「おかえり」などあいさつをしてくれることです。喫茶店やエコープなどとコラボして、飛島村の農産物を広めていけるともっとよくなると思います。子どもにもわかりやすい歴史やロケットの絵本を作って、図書館やメディアセンターなどにおくと、とても良いと思います。

これが私の学び 研修テーマ「自然について」

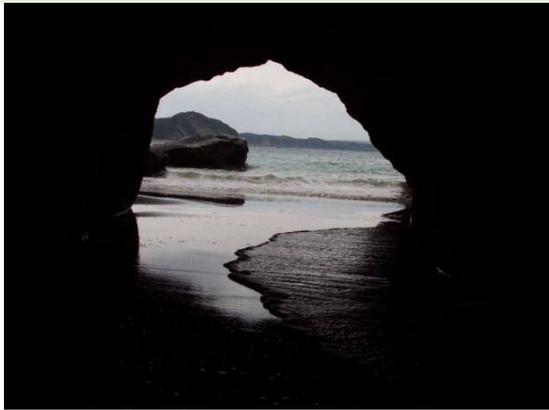
飛島学園6年生 坊山 友都

【マングローブパーク】



マングローブは海水が流れるところにしか生息しません。マングローブは白い小さな花が咲きます。がくを中心に直径数cmの卵型の実をつけます。それが落ちてマングローブの地面の泥の沼に刺さり、成長して行って自然に繁殖していきます。

【千座の岩屋】



千座の岩屋は、太平洋の海水が岩を削って出来た空洞です。千座の岩屋は、干潮時に中に入ることが出来ます。名前は、中が枝分かれしていて、その中に1000人は入れるというところから、この名前が付けられました。

研修全体を振り返ってみて、感じたこと

マングローブパークや千座の岩屋などにペットボトルなどのゴミが捨ててあったので、ゴミのポイ捨てはやっぱりだめだと思いました。最初は少し不安だったけれど、研修を通じてだんだん行きたくなってきて、実際行っているいろんなことを学べたので良かったです。

南種子町と比べてみて、飛島村の良いところや「こうなるともっと良い！」と思ったこと

南種子町には温水プールが無くて、飛島村は冬でも温かい水で泳げて夏でも冬でも、運動不足になりにくいと思いました。飛島村の公民館に南種子町のサトウキビが植えてあることを聞き、友好都市の関係があるからこそだと思いました。そして、飛島村でもサトウキビが食べられるようになればいいと思いました。



鉄砲伝来の地 門倉岬にて



南種子町の交流児童とともに

編集後記

飛島村は南種子町とロケットロードパートナーシップ協定を締結してから、本年度で4年目を迎えました。過去3年間は、研修報告会という形で学んだことを紹介してきましたが、本年度からは報告書という形で研修の成果を表すことになりました。

団員たちは、事前研修で飛島村について勉強した上で、本研修での体験・経験から自分の研修テーマを中心にいろいろなことを学びました。本書では団員一人一人の学びを綴っています。

今後、この体験が団員たちの成長の糧となるとともに、南種子町と飛島村の繋がりがより強固なものになり、ともに発展していくことを願い、結びとさせていただきます。

発行日：令和2年3月

飛島村～南種子町
ロケットロード研修報告書

●発行：飛島村・飛島村教育委員会